

自治協ニュース

第307号
発行者
八本松住民自治協議会
R04. 1. 20

東広島市長 災害復旧状況を視察

住民の皆さんの要望を伝える

復旧した大谷原池を視察する高垣市長(左から2人目)



高垣市長は、12月28日（火）、西日本豪雨災害等の復旧事業の市内の主な事業箇所（八本松、豊栄、黒瀬、安芸津、高尾河内）を視察し、地元関係者と復旧・復興に向けた意見交換を行った。

八本松地区では、溝迫交差点に土石流を流し大きな被害を起した渓流に設置された治山ダム（令和2年度事業）とその上流に設けられた

強靱ワイヤーネット（令和元年度事業）、更にはこの渓流の西側で起きた土石流の侵入で荒廃した大谷原池の復旧状況（令和2年度事業）について現地を視察した。

業で取組まれている記念池の復旧と土石流が発生した渓流の最下流部への治山ダム（1ヶ所）の設置等の復旧が特に急がれると述べた。



高垣市長(左から2人目)と八本松住民自治協関係者
背景 溝迫交差点上流の曾場ヶ城山渓流に完成した治山ダム
このダムの上流に更に4基の治山ダム建設が計画されている

八本松市長クラブ ダックアウト完成

東広島ライオンズクラブが市へ寄贈

12月17日（金）東広島ライオンズクラブ（会長 中村勝博）は、八本松市民クラブにダックアウトを設置し、高垣市長、津森教育長ならびに市民クラブ管理者の土久岡八本松住民自治協議会長等を来賓として招き、完成除幕式を行った。

当クラブは、八本松地域の中央部に位置し、子どもから高齢者の方のスポーツや地域のイベント等多くの方向に利用されている。しかし、この施設には日陰がなく夏場の熱中症などが懸念されていた。

そこで、東広島ライオンズクラブは、クラブ結成55周年記念事業として市民の皆さんが楽しくスポーツができて顔あふれるまちづくり！の実現に取り組み所存です。

最後に、本年も地域の皆さまの益々のご健勝とご長寿を祈念し、年頭のご挨拶と致します。

住民自治協議会
会長 土久岡 章治



除幕式に参加されたみなさん
後方に新設されたダックアウト

年頭の「まちづくり」

新たな八本松
まちづくり計画を



土久岡 住民自治協議会会長

新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍のなか、当協議会も計画通りの活動が出来ず窮屈な思いでいっぱいでした。本年も新型コロナウイルス

の拡散防止にはしっかりとした対応をして活動してまいりたいと思います。また、本年は、当協議会エリアでも区画整理事業をはじめとする様々な公共事業が本格的に始まります。これからの10年間は、大きく地域

環境が変わる時代となるため、団塊の世代から次の世代へとバトンを継ぎながらしっかりとした地域の基盤づくりが最も重要になってまいります。

そのため、東広島市が第五次総合計画で掲げる「仕事づくり、暮しづくり、人づくり、活力づくり、安心づくり」の方向性に沿った「新たな八本松のまちづくり計画」を地域の皆さまとともに取り組み、私たちの将来目標「大好き！ふるさと八本松・子どもからご年配の方まで笑

八本松自治協
環境対策委員会

最新鋭・資源循環に優れたごみ処理施設を視察 災害時には防災拠点の機能も

東広島中央エコパーク視察研修会 自然と融合した施設 ぜひとも見学を

12月15日（水）八本松住民自治協議会環境対策委員会（委員長 小池恵美子）は、自治協の役員を対象に「広島中央エコパーク視察研修会」を開催した。



中央エコパークの説明を受ける参加者

この施設は、「高効率ごみ発電施設」と「汚泥再処理センター」からなる新たなごみ処理施設で昨年10月から本格稼働している。環境対策委員会では、この施設の利用で「ごみ」の分別方法が変わったことから、実際に施設を見学することで、地域でのごみの出し方や東広島市が目指す循環型社会へ

の理解を深めようと企画したもの。

当日は、環境対策委員会をはじめ、当施設が災害対応の防災拠点となっていることから防災委員会等からも参加があった。

参加者は、解説動画を見た後、一般見学コースと中央制御室やごみクレーンの操作などを見学し、この施設の建設費やランニングコスト、災害時の利用等について質問されていた。また、小池対策委員長は、今回の研修から「施設内には災害時に『災害ごみ』の仮置場となる芝生広場や旧山陽道と連結した散策道、排熱

を利用した足湯などもあり、個人でも

（火曜日・金曜日9時～16時）見学することができ、多くの方に訪れていただきたいと思います。また、団体の場合は申し込みをすると案内をしていただけますので、ぜひ各自自治会・団体でも企画してみてください」とこの施設の見学をすすめている。



研修会参加者

各地で年末特別警戒夜間パトロール

八本松中央地区
自主防災会

青パト車と徒歩で 警戒を呼びかける



夜間パトロール参加者

八本松中央地区自主防災会（会長 高山徹）は、12月25日（土）から2日間午後5時から地区内の年末防犯・防災警戒パトロールを行った。

このパトロールは一昨年から行われているもので今回は3回目。特に年末年始はお出かけで留守のお宅が増え火災や盗難の恐れがあるため、住民の皆さん

に用心していただくために行われている。25日は13人の自主防災会員がパトロールに参加。2班に分かれ、青色防犯パトロール車で「年末防災・防犯パトロール実施中です」と住民の皆さんへアナウンス。参加者の皆さんは、徒歩で拍子木を鳴らしながら「火の用心、戸締り用心」と呼びかけ団地内を巡回した。

八本松みなみ地区
自主防災会

子ども達の声に合わせ

元気にパトロール



（木）夜7時から今年度で8回目となる恒例となっている年末特別警戒夜間パトロールを行った。

子ども達に感想を聴くと、「大きな声を出せて楽しかったです」と明るく答えくれた。最後に横井会長は「寒さの中、ご協力ありがとうございました。来年は良い年になるように」と述べ、パトロールを終了した。

八本松みなみ地区自主防災会（会長 横井國興）は、12月30日

今回は、13人の有志の方（うち子ども1人）が参加され、雪のまっさらの中を約1時間、2班に分かれ拍子木に合わせ「火の用心」と連呼し、地域内の団地をパトロールした。

パトロール後の報告会では、防犯灯が設置